

科目名称：	子どもの食と栄養Ⅰ	
担当者名：	井上好美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
自身の健康と食生活については栄養に関する基礎知識を学び、子どもの食事から現状と課題とともに食事が果たす役割は乳幼児には大きく、食事形態や食べ方など発育発達について理解する		
授業の達成目標・到達目標		
自身が食事を柱とする生活リズムを保ち、食を通して保育に携わる人に喜びや楽しみを持てるように、地域社会との関わりの中で食育の実践ができる。食育の現状を知り、課題を見つける		

幼児教育学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		○
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。		

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		70	30		100
幼児教育DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 管理栄養士	《経験年数1》 37年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		
授業内容に応じて、適宜グループワークやディベートを実施する。		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
食事バランスの理解	主食、主菜、副菜に食材の種類知識あり、分けられる	主食、主菜、副菜には分けられるが、食材がすくない	食材の種類も少なく、主食、主菜、副菜がやや劣る	食材の種類も少なく、主食、主菜、副菜が分けられない
発表、表現力	まとめ方がわかりやすく、表現力がある	まとめ方が良いが、表現力が少し劣る	まとめ方がながすぎるのと、表現力がやや劣る	まとめがあまりできず、表現力もない
話を聞く力	人の話をよく聞く姿勢がある	人の話を聞く態度はある	人の話を聞くときがある	人の話を聞く態度がない
声の大きさ	常にはっきりとした声で話す	はっきりとした声で話す時もある	声が小さいこともある	声が聞こえにくい

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 子どもの健康と食生活の意義と昨今	日本や世界の栄養不良について調べる	30分
第2回 子どもの食生活の現状と課題 発育発達	栄養過多について調べる	20分
第3回 栄養に関する基本的知識 炭水化物の機能	炭水化物の種類を調べる	20分
第4回 脂質とたんぱく質の種類と機能	たんぱく質の多い食品を調べる	20分
第5回 炭水化物、たんぱく質の消化と吸収	消化と唾液について調べる	20分
第6回 ビタミンとミネラル、水分の機能と食品	ビタミンとミネラルがどんなものにたくさんあるか調べる	20分
第7回 栄養バランスを簡単に学ぶ方法とは 一日の栄養計算式	自身が食べているものを3日間記録してくる	30分
第8回 調理の基本 うまみ成分と食品表示	機能性表示食品とはトクホとはを調べる	20分
第9回 衛生管理と食中毒予防	あなたの買物の順番を考えてくる	10分
第10回 スライド見せて解説 女性の健康サポート 骨	カルシウムの吸収の良い食品を調べる	20分
第11回 スライド見せて解説 生活習慣病と特定保健指導制度	特定封建指導の条件について調べる	20分
第12回 子どもの発育と発達の特徴 栄養評価	大人と子供の栄養の違いについて調べる	30分
第13回 妊娠期の食生活の注意点 胎児に危険な栄養不足とは	胎児に影響する栄養素について調べる	20分
第14回 グループワーク 保護者の質問から	実習で学んだことなどを記録しておく	20分
第15回 まとめ	発表する準備をしておく	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、各回の復習や予習を小レポートにまとめておくこと。
成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト 70％ レポート30％
課題に対してのフィードバック
グループワーク時において、専門家の意見を含めて学生へフィードバックする。
教科書・参考書
最新 子どもの食と栄養（授業の中で該当ページを示し使用する）